

フェアプレイ  
インタビュー  
[テニス]  
杉田祐一選手



**プロフィール**  
生年月日：1988年9月18日  
出身地：宮城県  
2017年の  
アンタルヤオープンで、  
日本人選手史上3人目の  
ツアー優勝

全力で相手にぶつかれ

ツアー優勝でテニス人生の金字塔



テニスのプロツアーで活躍する杉田祐一選手は、7歳からテニスを始め、みなさんと同じような年齢のころにプロ選手を目指す道を

歩み始めました。ずっと頑張ってきた杉田選手は、2017年に、いに世界中で大会を開催するATP（男子プロテニス協会）のアンタルヤオープンで、日本人男子選手3人目となるツアー優勝を遂げ、金字塔（偉大な業績を後世に残すこと）を打ち立てました。それまでは松岡修造さん、錦織圭選手の2人しかいませんでした。

今年の目標は東京五輪での活躍

この成績のおかげもあり、このシーズン、ATPランキングで錦

いろいろな経験して判断する力を

杉田選手は身長173センチで、世界のプロ選手たちは体が大きく力強い選手も多く、その中で比較的小柄な選手です。しかし、「攻撃的で速いテニス」が自分の持ち味。体の大きい選手をうらやまし



織選手に次ぐ日本男子史上2人目の30位台となる36位まで駆け上がり、世界のトッププロの仲間入りを果たしたのです。しかし、そのシーズンの終わり、背中の内側にできた腫瘍の除去手術をすることを決断し、手術の影響で次の18年シーズンは思うようなプレーができませんでした。それでも杉田選手はくじけず、19年シーズンはストックホルムオープンでベスト4に入るなど復活し、今年の東京五輪での活躍を目指しています。それには2020年1月から始まる新シーズンの大会で頑張り、好成績を残してランキングを上げていく必要があります。杉田選手は「1月から3月が勝負。好スタートを切りたい」と力強く話しました。

感じる」と表情を引き締めました。杉田選手は「みんなにはいろんな経験を自分で判断する力を持つてほしい。取り入れた方がいいこと、そうでないことを」と優しい表情で話しました。さらに「スポーツだからこそ同じルールのもので戦える。テニスであればコートで自分のすべてを出し尽くしてほしい。全力で相手を打ち負かすというのはスポーツでしかできない」。JSPOが掲げるフェアプレイ7カ条にある「全力をつくそう」を実践してきた杉田選手の重みのある言葉です。

FAIRPLAY STORY  
フェアプレイ  
ストーリー

ライバルの存在が成長させる！

河村勇輝選手



ウィンターカップ2019で優勝した福岡第一高等学校バスケットボール部主将河村選手



バスケットボール選手の中では比較的小柄な体格にも関わらず、全国から注目される選手の人だ



自信を無くし宿舎で号泣した河村選手だったが、このままで終わりはたくない……



河村選手はゴール下だけでなく、外角からのシュートを増やすなど、プレーの幅を広げ



自分なりの新たな武器を増やす努力を続けた



身長を大きく上回る相手に徹底マークされる中で



彼の成長には1年生の時に戦った大濠高校の存在が大きく影響していたらう



優勝が決まった瞬間福岡第一高校の選手たちは真っ先に大濠高校の選手たちに駆け寄って称えた



素晴らしいプレーで優勝に大きく貢献